

5年度一般会計

歳入歳出決算

白岡市の財政は良好



議会は問う、総括質疑

問 「持続可能」とは、単に財政的に破綻しないということではなく、市民の要望に、将来に渡ってタイムリーに的確に対応することができる財政状態にあることと考える。その見通しはあるのか。

答 財政の持続可能性を確保するためには、短期的な対応だけでなく、中長期的な展望を持って財政運営を行うことが必要と考えている。現在、市では、中期的な財政推計を行う中で、経常収支比率や実質公債費比率などの財政指標について推計している。今後もこれらの指標の推移を注視し、適切に財政運営を行うことで、「持続可能」な状態を保持できるよう努めていく。

問 5年度決算を踏まえた7年度予算編成の課題は何か。

答 5年度決算では、経常的な扶助費が過去最高を更新するなど、社会保障関係経費が増加した影響により経常収支比率が悪化し財政構造の硬直化が進んだ。今後は、積極的に推進してきた都市計画道路整備などの大規模事業の影響により公債費の増加が見込まれる。

7年度予算の編成に当たっては、このような課題を踏まえたうえで予算編成に取り組み、市民により良いサービスを提供し続けることができるよう努めていく。

問 地方自治法第241条第2項に「基金は、これを前項の条例で定める特定の目的に応じ、及び確実かつ効率的に運用しなければならない」とある。基金の運用は何によって行われているのか。それが国債によるものならば、どのような利付国債なのか。新規発行債が既発債か、償還日、残存日、表面利率、国債購入価格、国債利回り等の説明を求める。

答 基金は、地方自治法や市の内規に基づき、普通預金、定期預金及び債券で運用している。債券の具体的な内容については、地方自治法第241条第2項に規定されている「確実かつ効率的な運用」に支障を来すおそれがあるため、答弁は控えさせていただきます。



< 5年度 決算規模概要 >

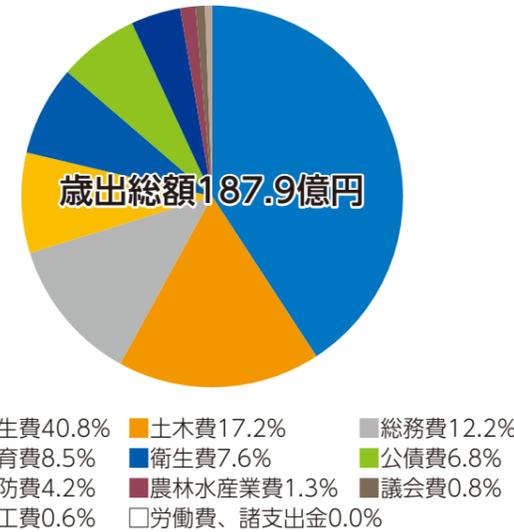
予算現額	213億8418万2千円
歳入決算額	204億2591万6千円
歳出決算額	187億9347万7千円
差引残額	16億3243万9千円
実質収支(黒字)	11億5987万1千円

5年度の目玉事業は

- ・ 公立保育所ICT導入事業
- ・ 温水プール大規模改修事業
- ・ 学校・家庭相互連携システム導入事業
- ・ 地域防災計画改訂事業

など

歳出決算構成図



市の財政状況

項目	数値	県内市の順位
財政力指数 高いほど余裕	0.77	26位/40市
経常収支比率 低いほど良い	91.3%	7位/40市
実質公債費比率 借金返済額の割合	4.1%	13位/40市
将来負担比率 将来の負担する借金などの割合 [財政圧迫度]	-	1位/40市 将来負担のない団体(マイナスになる団体20市)は一律で1位

※財政課調べ

反対討論

会議録等から推察すると、基金を2020年前後に20年国債10億円購入した場合、国債金利は現在の定期預金の半分以下。売却するにも現況下で行えば億単位の巨額損失となり、公金の塩漬けた。基金運用の説明を拒み不透明にする公金の管理体制等を考え、本案に反対だ。

議提案 第4号 ▶ 可決

5年度一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議

提案理由

公金の適正な管理及び効率的な運用について、議会のチェック機能を果たしていくために、透明性の高い決算議案添付資料への見直しを求めるとともに、市民に不利益な財政負担が生じることのないよう早期に、基金の運用状況を明らかにされたく、この案を提出するものである。

地方自治法第96条第1項第3号では、議会の議決事件として「決算を認定すること」を規定している。その審議、審査に当たっては、決算監査意見書を参考に、予算の適正適法かつ効率的な執行、行財政運営の改善など、個別具体的なことから大所高所に至る総合的なことまでの幅広い視点と、健全な財政運営の維持という長期的な観点も踏まえて行うものと捉えている。

本議案については、審議、審査に当たり、議案添付資料(財産に関する調書)において、基金の運用状況等に不透明なものがあり、そのような資料では、審議、審査の合理性を欠くものと考えている。

白岡市議会は、公金の適正な管理及び運用についてのチェック機能を果たしていくために、基金の運用状況について、透明性の高い決算議案添付資料への見直しを求め、市民にとって不利益な財政負担が生じることのないよう早期に、基金の運用状況を明らかにされたい。

以上、決議する。

令和6年9月25日

埼玉県白岡市議会